

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	建築構造・設備実習2		
科目基礎情報						
開設学科	建築学科	コース名	建築構造・設備専攻	開設期 後期		
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数 60時間		
単位数	2単位			授業形態 実習		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。					
担当教員情報						
担当教員	構造：高見澤孝志／設備：藤原正城	実務経験の有無・職種	有・構造設計／設備設計	一級建築士		
学習目的						
この科目を受講する学生は、建築の【構造】分野と【設備】分野の考え方や能力が求められることを意識できるようになる。各自の興味や将来像の希望から建築構造・設備の専攻を選択し、構造設計に必要な基礎的な知識、設備設計の図面の描き方を通して、習得することがねらいである。						
到達目標						
【構造】 前期で作成した構造模型をもとに、違う種類の構造図を作成することにより理解を深める。 【設備】 前期で学んだ建築設備図の基本知識を基に、異なる規模・用途の建築物の設備図を作成することにより理解を深める。						
教育方法等						
授業概要	【構造】 構造模型をもとに自ら図面を製作する過程で、構造材のサイズ等を読み解き学ぶ。 構造材のサイズの決定の仕方を学ぶ。 【設備】 設備図を自ら制作することにより、問題点等をクリアし理解を深める。					
注意点	【構造・設備】 (1) 毎回教科書、資料などを必ず持参すること。 このプリントも持参のこと。 (2) 製図道具、制作用の道具などを持参すること。 (3) 出欠状況は各自で管理すること。(手帳やノートに記録する。) (4) 授業時数の 3／4 以上 出席しない者は、不合格とする。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する			
	成果発表 (口頭・実技)	10%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する			
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する			
	出席状況	20%	段階的に学習しているものとして評価する			
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画（1回～15回）						
回	授業内容	各回の到達目標				
1回	【設備】給排水衛生設備	屋外給排水設備の設備図作成				
2回	【設備】給排水衛生設備	屋内給排水設備の設備図作成				
3回	【設備】電気設備	照明計画及び設備図作成				
4回	【設備】電気設備	コンセント計画及び設備図作成				
5回	【設備】電気設備	弱電設備の設備図作成				
6回	【設備】電気設備	分電盤の系統図				
7回	【設備】空調設備	ビル用マルチエアコンの系統図及び設計				
8回	【設備】換気設備	シックハウス対策：24時間換気設備 設計				
9回	【構造】構造図作成	オリエンテーション、構造に関するレクチャー(1)、構造図制作(基礎伏図)①				
10回	【構造】構造図作成	構造図制作(1階床伏図)②				
11回	【構造】構造図作成	構造図制作(小屋伏図)③				
12回	【構造】構造図作成	構造図制作(軸組図)④				
13回	【構造】壁量計算	構造(壁量計算)に関するレクチャー(2)、レポート課題				
14回	【構造】壁量計算	壁量計算				
15回	【構造】講評	講評、構造に関するレクチャー(3)				